

脳神経外科

月1回の注射、新しい片頭痛の「予防薬」

片頭痛は拍動性の中等度から重度の頭痛発作が繰り返し生じ、悪心嘔吐を伴い、日常動作で頭痛が憎悪するためただひたすら寝込むつらい症状が続きます。片頭痛発作有病率は8・4%と高く、男女共20〜50歳代の勤労世代に多く見られることから、社会生活にも影響を及ぼします。さて、そんなつらい片頭痛は予防できれば一番いいのです。

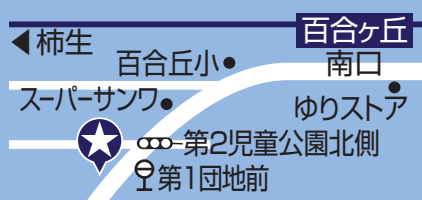
月1回注射する片頭痛の「予防薬」。発作回数を減らし、発作時の痛みも軽減し、月4〜5回以上の片頭痛に悩まされている人にとっては、画期的な予防薬です。多くの例で使用開始翌月には効果が出ており、特に10%の人は頭痛がゼロに。副作用も心配すべきものは特段報告されていません。基本的に予防薬は毎日服用せねばならず、かつ効果もはっきりしないことが多いものに比べれば、月に1回の通院、皮下注射で済むならば選択もありえます。誰にでも使える薬ではなく、投与対象者には該当条件があります。まずはご相談ください。



石田 和彦

■ 脳神経外科・整形外科

いしだクリニック



☎044-955-0250
麻生区百合丘2-7-1
<https://www.ishida-clinic.or.jp/>